

二世豊竹古靱大夫床年譜 (五)

轉載不許

年次 劇場並に狂言 古靱大夫に關する記事 淨瑠璃界一般

七月十四日初日
(七日間)

竹本越路大夫一座
名古屋 御園座

古靱大夫、清六出勤

八月一日初日
(七日間)

京都 南座

八月廿三日初日
(七日間)

竹本南部大夫一座
神戸 多聞座

古靱大夫、清六出勤

九月九日初日
(二日間)

竹本津大夫一座
大津

古靱大夫、清六出勤

九月十四日初日
(三十四日間)

前 饗景清八嶋日記 文 樂 座
大序より日向島之段迄

中 近頃河原達引 堀川之段 四條河原之段

次 近江源氏先陣館 盛綱首實驗之段

切 關取千兩轡 猪名川内之段 相撲場之段

京都 明治座

役場 (初役) 四條河原之段中
三味線 三世鶴澤清六

(初役) 猪名川内之段
掛合 おとわ

三味線 三世鶴澤清六
三味線 三世鶴澤清六
櫓太鼓を弾く

本年は是にて三度京都へ出勤す

二世豊竹呂大夫、吉田多爲藏再出勤

十月十八日初日
(五日間)

十月廿八日初日
(三十七日間)

前 一谷嫩軍記 文 樂 座
大序より熊谷陣屋迄

役場 (初役) 須磨の浦組打之段
三味線 三世鶴澤清六

年次	劇場並に狂言	古親大夫に關する記事	淨瑠璃界一般
十二月十一日 初日 (七日間) 十二月廿二日 初日 (五日間) 明治四十四年(西曆) 一月二日 初日 (四十二日間)	中 花上野譽碑 志渡寺之段 切 神靈矢口渡 頼兵衛住家之段 竹本越路大夫一座 名古屋 御國座 神戸 相生座	古親大夫、清六出勤	是にて冬休
二月廿一日 初日 (四十三日間)	前 木下薩狹間合戦 大序より 中 攝州合邦辻 合邦住家之段 切 新版歌祭文 野崎村之段 油屋之段	役場 (初役)竹中官兵衛崇之段中 (矢ノ根) 三味線 三世鶴澤清六	松竹合名會社、松竹合名社と改稱す
四月十五日 初日 (三十二日間)	前 伊賀越道中双六 大序より 切 名筆吃又平 土佐將監閑居之段	役場 (初役)新關之段奥 三味線 三世鶴澤清六	二月二十八日、二世竹本綾瀨大夫(本名三輪平太)東京にて歿す。法名竹雲軒心譽靜平。英綾居士、行年六十四
	二月廿一日 初日 (四十三日間)	役場 (初役)東天紅之段 三味線 三世鶴澤清六 (二度目)茶茶酒之段 三味線 三世鶴澤清六	二月二十八日、五世野澤吉兵衛(本名鈴木繁造)東京にて歿す。法名大雲院釋是相居士、行年七十一。

六月一日初日
(三十五日間)

同座

前 彦山權現警助劍 大序より九ツ目迄

中 鎌倉三代記 三浦之助母閑居之段

切 基太平記白石嶺 官城野部屋之段

七月六日初日
(七日間)

竹本越路大夫一座
京都 歌舞伎座

七月十四日初日
(十一日間)

神戸 大黒座
(人形入)

七月廿一日初日
(十八日間)

大阪 浪花座
(素淨瑠璃)

九月一日初日
(七日間)

京都 南座

九月九日初日
(三日間)

京都西陣 岩神座

九月二十日初日
(二十八日間)

前 双蝶々曲輪日記 大序より橋本之段迄

切 本朝廿四孝 三郎景勝下駄之段より十種香之段迄

十月廿五日初日
(二十四日間)

前 源平布引瀧 同座 大序より三段目迄

中 中心天綱嶋 河庄之段 紙屋内之段

切 義士銘々傳

役場 (初役)須磨の浦之段奥
三味線 三世鶴澤清六

古靱大夫、清六出勤

役場 (初役)引窓之段中(かけ碗)
三味線 三世鶴澤清六

役場 (二度目)河庄之段中
三味線 三世鶴澤清六

竹本南部大夫再度出勤
京都路大夫改め竹本鳴門大夫久々にて出勤

是にて夏休

八月三十日、竹本七五三大夫(本名瀬鴻幸吉)歿す。法名良譽幸運禪定門、行年四十八。

野澤勝太郎、師名野澤勝市を襲名す
四世なり
鳴門大夫退座。

是にて冬休。

年次

劇場並に狂言

古靱大夫に關する記事

淨瑠璃界一般

十二月六日初日
(七日間)

十二月十七日初日
(五日間)

明治四十五年(壬戌)
一月二日初日
(三十六日間)

二月十八日初日
(三十四日間)

四月一日初日
(三十五日間)

竹本越路大夫一座
東京帝國劇場
名古屋 御園座

前 伽羅先代萩 文樂座
御殿之段迄
切 桂川謹理柵 六角堂之段より
道行迄

同座

前 平假名盛衰記 大序より
逆櫓之段迄
中 卅三間堂棟由來 段 平太郎住家之
次 蝶花形名歌嶋臺 小坂部館之段
切 檀浦兜軍記 琴責之段

同座

前 妹香山婦女庭訓 大序より
御殿之段迄
切 森植理の松 生玉之段より
住吉濱邊之段迄

古靱大夫、清六出勤

役場 (初役)土橋之段
三味線 三世鶴澤清六
此の時音聲を痛め三日間缺勤、葉大
夫代役す

役場 (二度目)逆櫓之段中(茶吞嚙)
三味線 三世鶴澤清六
(二度目)琴責之段
掛合 榛澤 六世鶴澤友次郎

三味線 六世鶴澤友次郎

役場

(初役)山之段
掛合 久我之助

三味線 六世野澤吉兵衛
(定高、攝津大掾、雄鳥、
南部大夫、三味線六世豊澤
廣助、大判事、越路大夫)
(初役)姫辰里之段
三味線 三世鶴澤清六
山之段掛合の稽古は攝津大掾師宅に
て行ふ

野澤春次郎、三世野澤歌助を襲名す

鶴澤猿糸、六世鶴澤友次郎名跡を相續す